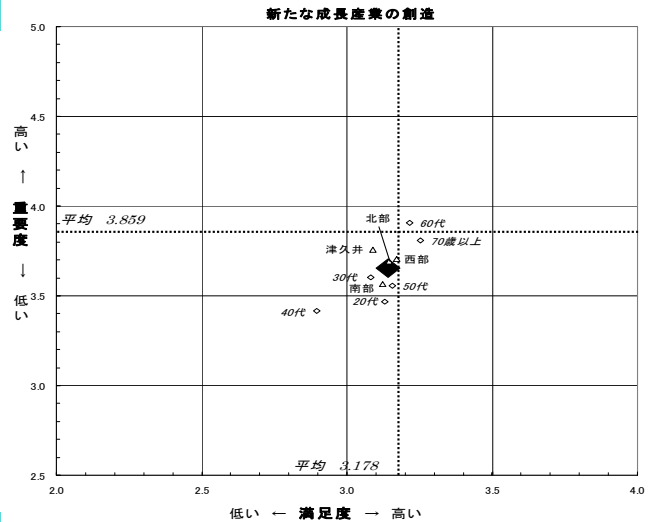


4 市民満足度調査結果(平成20年度実施分)

○この施策の満足度は3.140で121施策の中で63番目
 ○重要度は3.655で92番目である。
 ○改善要望度は-0.1174で86番目である。
 ○年齢別にみると、満足度は70歳以上で最も高く、40代で最も低くなっている。重要度は60代で最も高く、40代で最も低くなっている。
 ○地区別にみると、満足度は西部で最も高く、津久井で最も低くなっている。重要度は津久井で最も高く、南部で最も低くなっている。



5 1次評価(2つの視点から評価を行う)

視点の種類	評価基準・着眼点	評価点	H18評価点	前回(H18)評価結果との比較分析
有効性	各事業が果たす施策に対する目標の達成度合いを把握し、効果の高い事業を実施している	④ 2 1	④ 2 1	
市民満足度	市民満足度調査により市民ニーズを把握し、市民の立場に立って事業展開している	4 2 ①	4 2 ①	
合計		5		評価結果に基づく区分(2項目の合計点数による) A(6点以上) B(5点・4点) C(3点以下)
				1次評価 B

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

6 課題と解決策(現状または、評価結果から)

課題	今後も社会経済情勢の変化に対応し、効果的な事業を実施する必要がある。また、各事業の周知方法を工夫することにより、実績値の向上を図っていく必要がある。
解決策	構成している事務事業を単体として捉えることなく、それぞれの企業ニーズ・成長段階に対応できるような、一貫した支援体制の構築を図る。また、事業実施の効果・効率を高めるために支援機関、工業団体、大学のネットワークに金融機関を加え、産学官金融のネットワークの構築を強化していく。

7 2次評価及び意見(1次、2次で評価に相違がある場合など、必要に応じて意見を記入)

	2次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

8 3次評価及び意見(評価結果及び課題・解決策について、必要に応じて意見を記入)

	3次評価 B
--	-----------

* Aは、良好、Bは、事務事業の見直しが必要、Cは、事務事業を統合・廃止の方向

構成事務事業一覧

単位:千円

事務事業 担当課	構成事務事業	H19決算見込 (事業費)	H20予算 (事業費)	H21見込額 (事業費)	事業効果 の高い 指標番号	前回の 優先順位	H17人員 (人)	H17決算額 (事業費)	H17合計 (人件費含む)
産業振興課	青年起業家育成事業	3,428	5,000	150	1	7	0.08	5,520	6,164
産業振興課	青年起業家育成基金積立金	71	500	500	1	8	0.02	1,791	1,952
産業振興課	産学連携支援事業	2,400	4,780	4,780	3	5	0.16	13,444	14,732
産業振興課	広域連携支援事業	10,889	13,513	13,513	3	2	0.21	1,518	3,209
産業振興課	コミュニティビジネス推進事業	5,069	6,361	6,361	1	3	0.16	4,435	5,723
産業振興課	中小企業新分野進出支援事業	16,632	12,637	12,637	2	4	0.06	16,632	17,115
産業振興課	公共図書館ビジネス支援事業	1,111	1,120	1,120	1	6	0.04	632	954
産業振興課	中小企業研究開発支援事業	24,846	23,180	23,180	4	1	0.21	15,677	17,368
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
									0
		64,446	67,091	62,241			0.94	59,649	67,216